

⑧区の現状と課題及び令和6年度の主な取組

秋葉区の現状と課題

- ・特に40歳代～50歳代の健診受診率が低いことから受診率向上に向けた取組が必要。
- ・健診の結果、血糖がメタボリックシンドロームの判定基準値以上に該当する人の割合が8区で一番高いことから、糖尿病予防対策に取り組むことが必要。
- ・健診の結果、メタボリックシンドローム該当者の割合が8区中一番高く、健診質問票からも、間食習慣のある人の割合・運動習慣のない人の割合が市平均より高いことから、生活習慣病予防への継続した取組が必要。
- ・高齢化率が8区中2番目に高く、今後さらに進展する高齢化に伴うフレイルに対する取組が必要。

特定健診受診率向上のための対策

- 事業目的：健診の受診率向上を図るため、区民に健診の重要性の周知と受診勧奨を行います。特に国保新規加入者への受診勧奨を行います。
- 事業概要：国保新規加入者（全数）への受診勧奨及び事業を紹介し、健診受診につなげます。また、区役所内の健康コーナーで健診を受ける動機づけを行います。商工会議所と連携し、健診について会報に掲載してもらい、受診勧奨を行います。
- 目標値等：令和6年度 健診受診率 45%

糖尿病予防対策

- 事業目的：糖尿病予防を目的に、区内の医療機関や大学と協働し区民の関心を高め、予防に取り組めるように意識付けを行います。
- 事業概要：区内の医療機関と連携し、血糖値測定を組み込んだ糖尿病予防相談会を2会場で開催します。新潟薬科大学や新津商工会議所と連携し、健康レストラン登録店を増やします。
- 目標値等：特定健康診査結果において、血糖のメタボリックシンドロームの判定基準（空腹時血糖 110mg/dl 以上又はHbA1c6.0%以上）が市の平均を下回る。

生活習慣病予防の取組

- 事業目的：生活習慣病予防のために、ハイリスク者を重点対象とし、生活改善できるよう支援します。
- 事業概要：生活習慣病予防教室を8回（中央型6回、地域型2回）開催します。
- 目標値等：生活習慣病予防教室の参加者数が、前年度より増加

持続可能なげんきな体！～12歳からのSDGs～

- **事業目的**：健康寿命の延伸のため、子どものうちから健康的な生活習慣を身につけられるよう支援します。子どもの生活習慣を見直すことで、保護者や祖父母の生活習慣の改善につなげ、世帯での健康度をあげ、延いては地域全体の健康増進につなげます。
- **事業概要**：自分のからだの状態を知り、健康に関心を持ってもらうため、小学校6年生を対象にジュニアドックを実施します。また、小学校6年生とその保護者を対象に生活習慣改善に関する健康づくり講座を実施します。
- **目標値等**：ジュニアドックの受診者が対象者(秋葉区内小学6年生659人)の1割以上からだづくり講座の参加者20組以上

アキハ生涯げんき！～地域ぐるみでフレイル予防～

- **事業目的**：身近な地域でフレイル予防やロコモ予防の実践方法の普及啓発を行い、住民が支え合いながら健康づくり活動を継続できるよう支援します。あわせて、子どものロコモ予防対策も展開します。
- **事業概要**：地域包括ケア推進課事業のフレイルチェックを3圏域で行い、その後、口腔ケア・低栄養をテーマにした2回1コースのフレイル予防教室を圏域ごとに実施します。さらに、より身近な地域でフレイル予防講座を開催し、普及啓発を進めるとともに、放課後児童クラブ等幅広い世代にラジオ体操の普及を進めます。サポーターフォロー研修会を1回実施し、サロン等地域での運動の普及支援を行います。
- **目標値等**：要介護認定率を上げない

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。